

明日から使える大学業務システム内製開発ハンズオン

末廣 紀史(香川大学 情報部 情報システム課 課長)

木村 悠佑(香川大学 情報部 情報システム課 主任)

川瀬 舞(香川大学 情報部 情報企画課 課員)

講師略歴

【末廣 紀史】民間企業で8年間、関西圏の大学 ICT インフラの構築業務を経験し、平成25年に香川大学に入職。令和4年度に香川大学大学院創発科学研究科修士(工学)を修了。本プログラムでは香川大学の DX 推進の考え方や実施内容について講演をおこない、その他開発事例の共有をおこないます。

【木村 悠佑】平成28年香川大学事務職員に採用。これまで法学部学務係、給与福利課を経て令和7年度から現職。給与福利課在籍時より情報システム課を併任し、MicrosoftPowerPlatformを使用した内製開発を実践。本プログラムではハンズオンの進行をつとめます。

【川瀬 舞】令和6年度香川大学情報部情報企画課採用。令和4年から DX 推進研究センター技能補佐員としてシステム内製開発の業務に従事。学内外向けのハンズオン(MicrosoftPowerPlatformを使用した内製開発)の講師を担当。本プログラムではハンズオン参加者のサポートをつとめます。

プログラム概要

香川大学はプロ開発者組織である「DX ラボ」を組織し、大学業務システムの内製開発を令和3年度からおこなってきました。そのノウハウを活かし、非情報系職員が自らも開発をおこなうスキルとして獲得できる「内製開発ハンズオン」を実施してきました(令和7年4月時点で44回開催、1858名参加)。DX 推進の担当者からのインプットトークと、開発の一部を体験するハンズオンとなっています。

日本の教育機関が無償契約できる MicrosoftPowerPlatform AI ライセンスの範疇で、大学でよくある業務を題材とした Forms での申請、PowerAutomate での自動化、SharePoint へのデータ保存の入門的内容を体験していただきます。

参加者がそれぞれの大学に戻っても実践できる講習内容になっております。DX ってなんだろう? と感じてらっしゃる方も、自分の業務を改善するキッカケにさせていただけると考えています。

準備物・事前課題

なし(会場の PC と、香川大学が発行した ID を用いる想定)

主な受講対象者

- ・普段の業務で Office 系ソフトを使って業務がおこなえていること。
- ・MicrosoftPowerPlatform の利用経験は問いません。
- ・また、本ハンズオンの受講対象は以下のとおり
 - ・自大学内において、これから市民開発者としての活動が求められている人
 - ・自大学内において、DX 活動をしたいと思いつつ、第一歩が踏み出せていない人

到達目標

1. 香川大学の DX 推進におけるキーワードと、それを具体化した戦略や取り組みをぼんやりと知る

ことができる。

2. 業務に使えるシンプルなシステムが簡単に開発できると思えるようになる。
3. 業務に関するデータを簡単に可視化できることに気づくことができる。